県会議員
山口のりひさの活動便り

２月定例県議会（２月14日から３月13日）等、この間の活動をご報告します。

暮らしに希望の持てる県政を

２月県議会では、2024年度の県予算案が審議されました。

予算案には、３歳未満児の保育料の第３子以降の無償化（２子は半額）、子ども医療費助成の拡大等、共産党県議団もこの間求めてきた県民要望が盛り込まれています。

一方、給食費無償化（小学校21、中学校15町村が実施）を、全県に広げるため県の支援を求めていますが、まったく消極的です。また、特別支援学校の給食費は値上げしたままなど、教育費の負担軽減にメスが入っていません。

いま、県の調査でも、ひとり親家庭の７割が食料を買えなかった経験があります。また、生活保護の申請は前年比で15％増加しています。県の人口が200万人を割るなか、少子化、人口減少も深刻です。ところが予算案は、日々の暮らし、将来に希望を求める県民の願いにこたえるものではないため反対しました。

知事は〝大変革への挑戦〟を強調されていますが、結局、教育費や社会保障の負担増など、経済を行き詰まらせた国の30年来のコストカット型の政治の延長線です。

“くらしに希望を”――教育費軽減、社会保障充実、政治の責任で賃上げを実現する改革にいっそう頑張ります。

総務企画警察委員会

公共交通利用促進

県は温室効果ガス排出削減のために、公共交通の利用者を2030年度までに現在の1・4倍（年１億人）に引き上げる計画です。しかし、運転士不足、経費の上昇などで公共交通の維持そのものが危ぶまれている深刻な現状で、達成は容易ではありません。事業者の運営や運行に対する抜本的な支援策、高校生の定期代への支援などを求めました。

発信力強化事業

県民のみなさんに県政の動きを伝え､また身近に感じてもらうために､広報の発信力のいっそうの強化が求められています。発行した広報への県民の反応をよくつかみ検証、検討することを要望しました。

土砂崩落で対応

「土砂崩落で県道が通行止めになり、本当に困っています」と連絡を受け、毛利栄子県議と急きょ下伊那郡阿智村へ。現地を視察し、住民のみなさんの声を建設事務所に届けました（３月15日）。４月上旬に片側通行に復旧しました。

水道広域化で調査

長野・上田地域の水道の広域化が進められようとしている中、廃止の対象の浄水場（長野市夏目ケ原、往生地、千曲市八幡）を視察。身近な施設の役割、住民の声を反映させる仕組みの重要性を実感しました。

往生地浄水場（２月２日）

長野県立大学生と懇談

県立大学の講義、寮生活など学生の声や要望を長野県立大学振興推進議員会議でお聞きしました。全員を対象とした海外プログラム（留学）など、県立大ならではの特色が発揮されていることを実感しました。（12月20日）

発達障がいについて高校生と意見交換

発達障がいについて活発に活動している上田染谷丘高校生と、県議会発達障がいの支援を考える議員連盟の意見交換会。みなさんとても熱心で充実した意見交換でした。（２月28日）

ＪＡ長野中央会と懇談

長野県農業と食料の現状、今後のあり方についてお話を聞きながら、意見交換を行いました。（２月２日）

日本共産党県議会報告

No ４　2024年４月【2024年２月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団　〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2　長野県議会日本共産党控室

TEL 026-237-6266（直通）　FAX 026-237-6322

E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp　ホームページ http://www.jcpnagano-kengi.jp/